

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和3年11月1日

計画の名称	15 晴れの国おかやま生き活きプランによる安全・安心な通学路確保の推進（防災・安全）					重点計画の該当	
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）			交付対象	岡山県、倉敷市、津山市、総社市、備前市、赤磐市、勝央町、美咲町、早島町、矢掛町		
計画の目標							

通学路交通安全プログラムによる合同点検において対策が必要とされた箇所について、歩道整備・交差点改良等による交通事故防止対策を実施し、通学路安全性の向上を図ることで、健やかに暮らせる地域の創造を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・通学路の合同点検において、道路管理者が行う歩道整備等の要対策箇所の対策済率を概ね50%に向上させる。
- ・歩道整備等により歩行者・自転車の死傷事故件数を概ね40%減少させる。

定量的指標の定義及び算定式

① 対策済率 対策が完了した要対策数／要対策箇所×100	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)	
	15%	30%	50%	
② 死傷事故減少率 整備前死傷事故件数－整備後死傷事故件数／（整備前死傷事故件数）×100 ※死傷事故件数は岡山市分を除く	0%	20%減少	40%減少	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	32,293百万円	A	32,293百万円	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0.00%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	---	---	---	---	---	---------------------------	-------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	中間評価の実施時期
岡山県において評価を実施	令和3年11月
	公表の方法
	岡山県ホームページで公表

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・（主）笠岡井原線等の道路整備を行った結果、死傷事故件数の減少が図られた。
--------------------------------	---------------------------------------

II 定量的指標の達成状況	指標①（要対策箇所の対策済率）	中間目標値	30.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画的に歩道整備等の道路整備を進めた結果、目標達成できた。
		中間実績値	31.0%		
	指標②（死傷事故件数減少率）	中間目標値	20.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画的に歩道整備等の道路整備を進めた結果、概ね目標どおりであった。
		中間実績値	19.0%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	
----------------------------	--

○特記事項（今後の方針等）

- ・中間目標達成できた。引き続き効率的・効果的な道路整備を推進していく。